

一般質問

■ヤングケアラーについて

支援の必要性を問う！

質

ヤングケアラーは、ケアを担う当事者は精神的、身体的に疲れてしまい、学業や部活動に集中できない等の悩みを抱えているとされ、ひいては進学、就職活動等に悪影響を与えかねない。今年度、石川県はヤングケアラーの実態調査を行い、早期発見と適切な支援に向けた取組を行うとの報道があったが、ヤングケアラーについて次のとおり伺う。

- ①支援の必要性について
- ②七尾市の実態の把握について

答

①子供が家族をケアすることにより教育の機会を逃すなど、子供として守られるべき権利が侵害される場合は、福祉、介護、医療、学校など各分野が連携した支援が必要になると考えている。

②こども園、小中高等学校からの不登校、幼い兄弟の世話をしているなどの情報を基に実態の把握に努めており、把握した際は、社会福祉士の資格を持った七尾市職員が訪問調査を行い、ヤングケアラーの可能性がある場合は、その状況に応じて関係機関と連携し対応することとしている。

【ヤングケアラー】

介護、幼い兄弟の世話、家事などあらゆるケアを担う18歳未満の子供や若者。ケアとは、お手伝いの範疇を超えて本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話を日常的に行っている状態を指します。



江曾 ゆかり 議員 (無党派)



厚生労働省の特設ページのバナー <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>

一般質問

■防災体制について

指定避難所施設のコロナ対策の現状は？

質

コロナ禍により、各地域で多くの住民が参加する防災訓練の規模の縮小や中止などにより地域の防災意識や災害時における対応の意識の低下が懸念される。

コロナ禍、ウイズコロナの状況において、行政、地域が一体的に市民の防災意識の高揚並びに災害時の体制強化を図るべきだが、コロナ対策が充実した指定避難施設の運営について、現状の対応を伺う。

また、災害時相互応援協定について、現状の企業や団体との協定をさらに充実させる必要があると思うが行政の考えを伺う。

答

従来の避難所運営マニュアルに加え、新型コロナウイルスを踏まえた避難所開設運営マニュアルを令和2年度に策定しているほか、避難所での密状態による感染拡大の防止や避難住民の安心、安全を確保するための避難所対応用品として間仕切り用のパーティションや消毒液、不織布マスクなども備蓄している。

災害時相互応援協定は、今後も各種分野における企業等との相互応援協定の充実に取り組みしていく。

●災害時相互応援協定

他市町との相互応援協定	7件
民間企業との相互応援協定	1件
災害復旧やライフライン復旧に関する協定	7件
物資支援に関する協定	14件
救急救護に関する協定	1件
郵便局との協定	1件
その他各企業等の専門分野を生かした協定	8件



原田 一則 議員 (灘会)



一般質問

■サイクルロードの整備を図れ

準備チームを立ち上げ取り組むべきだ！

質

ナショナルサイクルルートの指定を受けた地域を見ると、行政、交通事業者、観光関係団体や一般企業等の多くの連携でもって大きな地域づくりの起爆剤になっている。

七尾市は自然豊かな七尾湾や国内外に誇る優れた観光資源があり、これを推進できる絶好的な地域である市内の多くの団体、関係者からなる組織ができれば、大きな課題というのは必ずやクリアできる。まずは準備チームを立ち上げ、取り組むことを期待するが、市の見解を伺う。

答

いしかわ里山里海サイクリングルートには七尾湾を周遊する七尾湾ルートが設定されており、利用促進協議会を通じて、サポート施設の設置やスタンプリーの実施など県と連携して利用促進に努めてきた。

石川県からは、いしかわ里山里海サイクリングルートについてナショナルサイクルルートを目指した走行環境の整備に着手するという方針を聞いており、七尾市も、サイクリングを通じた交流人口の拡大、今後のインバウンド需要を見据え、県と連携し、ルートの整備に取り組む。

【ナショナルサイクルルート】

令和元年9月に国が日本を代表し世界に誇り得るサイクルルートとして一定の要件を満たすルートを指定し、国内外に向けたプロモーションを実施するなど、日本におけるサイクルツーリズムを推進していくことを目的として創設されたもの。



永崎 陽 議員 (新国会)



ナショナルサイクルルートのロゴ